

## 調査の概要

### 【目的】

小学校学習指導要領の次期改訂に資するため、今次改訂の改善事項を中心に、各教科等の目標や内容に照らした児童の学習の実現状況について調査研究を行い、検討の基礎となる客観的データ等を得るとともに、教育課程の基準に係る課題の有無及びその内容等を検証・総括する。

### 【時期、対象学年及び教科等】

○調査時期：令和5年2月6日(月)から令和5年3月3日(金)

○調査対象：公立小学校 1,170校(義務教育学校前期課程含む) ※全学校の約7.1%、無作為抽出  
実施児童数(延べ) 120,378人

○内容：各教科で、①今回の改訂の基本方針に関する事項、②各教科等の主な改善事項(今回の改訂で新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項)、③従来、課題とされている事項の視点に基づくペーパーテスト調査を実施するとともに、一部教科で実技調査を実施。あわせて、児童、教師、学校長を対象とした質問調査を実施。

(教師、学校長については、オンライン形式にて実施。)

・ペーパーテスト調査：第3～6学年 国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育(運動領域、保健領域)、外国語(英語)

・質問調査(学校)(児童、教師)：第2～6学年 生活、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動、外国語活動

・実技調査：第6学年 図画工作、家庭、体育(運動領域)、外国語(英語)

## (主なポイント)

### 各教科のペーパーテスト調査の結果から

○「知識・技能」について、事実的な「知識」は一定程度の定着が見られるものもある一方、「知識」の概念としての習得や、習得した「知識」を日常生活に当てはめたり、現実の事象と関連づけて理解することには一部に課題があると考えられる。

○「思考力・判断力・表現力等の育成」の観点から、例えば児童が具体的な問いを見いだす点等については、定着が見られるものもあると考えられる一方、目的に応じた課題解決、自分の考えや根拠を明確に説明するといった点については、課題があると考えられる。

### 生活、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の質問調査の結果から

○質問調査では、学習状況や学校生活等について概ね肯定的な回答が多く見られるが、同様の趣旨の項目において、教師の認識と児童の受け止めに差があるなど、課題が一部で見られる。

### 教育課程全体に係る質問調査

○主体的・対話的で深い学びや、資質能力の3つの柱、見方・考え方などの学習指導要領が提唱する基本的な考え方については、現場の教育課程や学習指導の改善等に良い効果を与えたとの回答が多く見られる。

○学習指導要領の趣旨実現を妨げる要素としては、多忙化や人員確保、研修時間の確保などの回答が多い。

○標準授業時数について、教育課程編成に係る学校の裁量を広げることについては、多くの学校が賛成。年間授業時数を確保した上で、教科間の授業時数の調整を可能とするような取組を行ってみたいとする学校が多い。

## ペーパーテスト調査等の概要

### ● 調査実施校：小学校 1,170校 実施児童数 120,378人（延べ数）

※1教科1問当たり、3,000人程度の調査結果を得ることができるよう、調査対象を無作為抽出した。

### ● データを見るにあたって

○「1. 主な改訂のポイント」「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」「3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性」「4. 調査問題例」の4構成と「4」に対応する問題を別紙（問題例）で添付。

○「2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」中の赤字部分は「相当数の児童ができています」もの、青字部分は「課題があると考えられる」もので、下線が付されているものは、「4. 調査問題例」及び別紙において問題例（質問項目例）が示されている。

※実技調査については、対象教科（図画工作、家庭、体育（運動領域）、外国語（英語））のペーパーテスト調査を実施する抽出校の中から調査を実施する学校を抽出。（1教科当たり350人程度：10校程度）

# 令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査の結果について（外国語）

## 1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 中学年に外国語活動、高学年に外国語科を導入。小・中・高等学校で一貫した学びを重視し、高学年で五領域の英語の目標を設定し、音声中心の指導を行い、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成。

## 2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」において、いずれも相当数の児童ができている設問が多く見られる。
- 「聞くこと」において、日常生活に関する身近で簡単な事柄について短い話を聞いて概要を捉えることや、「読むこと」において、メモやパンフレットを読んで概要を捉えたり必要な情報を得たりすること、「書くこと」において、音声で十分に慣れ親しんだ語句を自分の気持ちに合わせて語群から選んだり、例文を参考にしたりして書くことは、相当数の児童ができている。なお、文を書き写すことに課題がある児童は、外国語の他の技能でも困難さを抱える場合が多い。
- 「話すこと[やり取り]」において、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして伝え合うことは、相当数の児童ができています。一方で、「話すこと[発表]」において、伝えようとする内容を整理した上で話すことについては、通過率が他の問題より低い。

## 3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
  - ・平成29年改訂のポイントを踏まえつつ、全ての領域においてコミュニケーションを行う目的や場面、状況などを意識した言語活動を通じた指導を重視。
  - ・「話すこと [発表]」で、伝えようとする内容を整理した上で話すことの継続的な指導の充実。
  - ・「書くこと」で、表記ルールに留意し、系統的・継続的な指導をより重視。

## 4. 調査問題例（ペーパーテスト・実技 小学校/外国語）

「日常生活に関する身近で簡単な事柄について短い話を聞いて概要を捉えること」の問題例（別紙1参照）

- 会話を聞いて、目的を達成するために足りない情報が何かを問う問題を出題【通過率 89.1%】

「メモやパンフレットを読んで概要を捉えたり必要な情報を得たりすること」の問題例（別紙2参照）

- おすすめの国について書かれたパンフレットを読み、内容に合うイラストを選ぶ問題を出題【通過率 86.6%】

「音声で十分に慣れ親しんだ語句を自分の気持ちに合わせて語群から選ぶなどして書くこと」「例文を参考に相手に伝わるように自分を紹介する文を書くこと」の問題例（別紙3参照）

- I likeに続けて自分の好きなものやことを語群から選ぶなどして書く問題を出題【通過率 99.0%】

- 自分のことを相手に知ってもらうために、例文を参考にしながら、相手に伝わるように自分を紹介する文を書く問題を出題【通過率 79.5%】

### 【実技調査（話すこと）】

「自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして伝え合うこと」の問題例（別紙4参照）

- 好きなものなどについて尋ねられたことに答える問題を出題【通過率 94.4%】
- 相手のことをよく知るために質問する問題を出題【通過率 85.6%】

「自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現を用いて話すこと」の問題例（別紙5参照）

- 自分のことを相手に知ってもらうために、小学校生活の思い出について自分の考えや気持ちなどを含めて話す問題を出題【(知識・技能)通過率 64.0%】 【(思考・判断・表現)通過率 64.7%】

## 「日常生活に関する身近で簡単な事柄について短い話を聞いて概要を捉えること」の問題例

## 外国語 第6学年「聞くこと」

○会話を聞いて、目的を達成するために足りない情報が何かを問う問題

・簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話を、メモを参考にしながら聞いて、話の概要を捉えることが必要。

## 4 (放送問題)

あなたは、教室にマリア先生のしょうかいコーナーを作るために、マリア先生にケンタさんとインタビューをします。あなたが聞きたいことは下の【メモ】に書いてあります。

あなたより先にケンタさんがマリア先生に質問をします。その会話を一度聞いてみましょう。



マリア先生 ケンタ

(問題)

次は、あなたがマリア先生に質問をする番です。【メモ】に書かれていることを知るために、あなたはマリア先生にどんな質問をしますか。これから放送される1から3の質問の中から1つ選び、その数字を□の中に書きましょう。

3

17

【メモ】



ケンタ

マリア先生にインタビュー  
 ・好きな教科  
 ・好きな食べ物  
 ・行きたい国

この後ケンタさんとマリア先生の会話と質問を、もう一度放送します。

【ケンタさんとマリア先生の会話】

ケンタ : Hello, Maria sensei. We have some questions. OK?

マリア先生 : Sure.

ケンタ : I like sports. I like P.E.. What subject do you like?

マリア先生 : I like science.

ケンタ : Me, too. I want to go to India. Where do you want to go?

マリア先生 : I want to go to Brazil.

ケンタ : Brazil? Why?

マリア先生 : I like soccer. I want to watch soccer games in Brazil.

ケンタ : Oh, nice. Thank you.

【問題】

- 1 What sport do you like?
- 2 Do you like music?
- 3 What food do you like?

【通過率 89.1%】

## 「メモやパンフレットを読んで概要を捉えたり必要な情報を得たりすること」の問題例

## 外国語 第6学年「読むこと」

- おすすめの国について書かれたパンフレットを読み、内容に合うイラストを選ぶ問題  
 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かることが必要。

- 7 マリア先生は、校内のある先生のリクエストにこたえて、おすすめの国のパンフレットを作っています。右のページのパ  
ンフレットを見て、(1)と(2)の問題に答えましょう。

【マリア先生が作っているパンフレット】

	Australia	
You can see kangaroos.		
You can see koalas, too.		
You can eat beef steak.		
It's delicious.		
		★イラスト

- (2) マリア先生は、★イラストの部分にパンフレットの内容に合うイラストを1つ加えて完成させることにしました。マリア先生が加えるとよいものを次の1から4の中から1つ選び、その数字を□の中に書きましょう。

1 	2 
3 	4 

2

(12)

【通過率 86.6%】

## 「音声で十分に慣れ親しんだ語句を自分の気持ちに合わせて語群から選ぶなどして書くこと」の問題例

## 「例文を参考に相手に伝わるように自分を紹介する文を書くこと」の問題例

## 外国語 第6学年「書くこと」

## ○I likeに続けて自分の好きなものやことを語群から選ぶなどして書く問題

・音声で十分に慣れ親しんだ語句を自分の気持ちに合わせて語群から選ぶなどして書くことが必要。

## ○自分のことを相手に知ってもらうために、例文を参考にしながら、相手に伝わるように自分を紹介する文を書く問題

・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、例文を参考に相手に伝わるように自分を紹介する文を書くことが必要。

- 11 あなたの学校では、同じ中学校に進学すると同様の小学校と、自己しょうかいの手紙を交かんすることになりました。サキさんとケンタさんが書いた手紙を参考にして、あなたも次のことに基づいて自己しょうかいの手紙を書きましょう。

## 【気をつけること】

- ・あなたのことを知ってもらえるように書きましょう。
- ・相手が読みやすいように、ていねいに書きましょう。
- ・配られた【ワードリスト】を参考にしてもかまいません。ただし、それ以外のものは使えません。

## 【ワードリスト】の例

## Sports 運動



## Actions 動作



鈴木 サキ

Hello. I'm Saki.

I like P.E.

I can dance well.

Thank you.



石山 ケンタ

Hello. I'm Kenta.

I like curry and rice.

I'm good at cooking.

Thank you.



あなたのことについて、(1)と(2)は前に続けて書きましょう。  
(3)は最初から書きましょう。

Hello. I'm (1).

I like (2).

(3)

Thank you.

(2) 【通過率 99.0%】

(3) 【通過率 79.5%】

## 【実技調査】「自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして伝え合うこと」の問題例

外国語 第6学年「話すこと [やり取り]」 ※実技調査においては、調査の設計上、調査対象数(学校数・児童数)が限定されている

○好きなものなどについて尋ねられたことに答える問題

・自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問に答えることが必要。

○相手のことをよく知るために質問する問題

・相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問することが必要。

評価者①：順番を待っている間にこの◆カードに書かれていることを読んでください。

評価者②：部屋に入ってください。

◆面接前に全員に見せるカード

面接を受ける前に、面接用教室の前で児童が読むように「カード」を用意する。

【カード】

これから、○○先生のことをよく知ったり、あなたのことをよく知ってもらったりするために○○先生と英語で話をします。まず、○○先生からの質問に答えたり、あなたから質問したりします。その後、あなたのことについてさらに話します。



12

評価者①：カードは読みましたか。これから○○先生(ALT)と英語で話をします。まず、○○先生から話し始めます。

※ その場で質問に答える。

(1)

ALT: Hello. I'm ○○. What's your name?

児童: (例) My name is ~. 他

(2)

ALT: Let's talk about favorite sports. I like soccer. Do you like soccer?

児童: (例) Yes, I do. 他

【通過率 94.4%】

(3)

ALT: Let's talk about favorite colors. What color do you like?

児童: (例) I like blue. 他

評価者①：次は、あなたが○○先生(ALT)に英語で質問する番です。(◆イラストのカードを児童に渡す。)このイラストを参考にして、○○先生がほかに好きなものについて英語で1つ質問しましょう。

それでは、どうぞ○○先生に質問をしてください。

※ その場で質問をする。

(4)

児童: (例) What animal do you like? 他

【通過率 85.6%】

◆全員に見せるイラストのカード

児童が質問を考える際の参考になるよう、「イラスト」を用意する。

【◆イラスト】



## 【実技調査】「自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現を用いて話すこと」の問題例

## 外国語 第6学年「話すこと [発表]」

- 自分のことを相手に知ってもらうために、小学校生活の思い出について自分の考えや気持ちなどを含めて話す問題  
・聞き手に分かりやすく伝わるように、話す内容を選んだり順番を決めたりして話すことが必要。

評価者①：順番を待っている間にこの◆カードに書かれていることを読んでください。

評価者①：部屋に入ってください。

◆面接前に全員に見せるカード  
面接を受ける前に、面接用教室の前で児童が読むように「カード」を用意する。

【カード】

これから、〇〇先生のことをよく知ったり、あなたのことをよく知ってもらったりするために〇〇先生と英語で話をします。まず、〇〇先生からの質問に答えたり、あなたから質問したりします。その後、あなたのことについてさらに話します。



13

評価者①：続いて、あなたの小学校生活の思い出についても、〇〇先生（ALT）がくわしく教えてほしいそうです。まず、〇〇先生が自分の小学校での一番の思い出を話します。それを聞いてから、あなたの小学校での一番の思い出がよく伝わるように話しましょう。

ALT: (◆「思い出のイラスト」カードを見せながら)

※イラストを指差すことはしない。

My best memory is the summer camp.

I went to the sea. It was beautiful.

I enjoyed fishing. It was fun.

I ate watermelon. It was delicious.

Thank you.

(◆「思い出のイラスト」カードをふせる)

評価者①：(ALTの話終了後)次はあなたが、小学校での一番の思い出について話す番になります。話す内容を45秒間考えた後、30秒間話す時間があります。それでは内容を考えましょう。

(45秒たって評価者①から合図の後)

ALT: It's your turn. Please start.

(児童の発表)

(例)

My best memory is the school trip.  
I saw Osaka castle. It was cool.  
I went to Kyoto.  
I enjoyed shopping. It was fun. 他

【通過率 64.0%】

【通過率 64.7%】

### 1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 中学年に外国語活動、高学年に外国語科を導入。小・中・高等学校で一貫した学びを重視し、中学年で三領域の英語の目標を設定し、音声中心の指導を行い、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成。

### 2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 児童質問紙調査では、英語の学習について肯定的な回答の割合が高い。また、「英語の学習が好きだ」については学年を経るごとに下がる傾向があるが、「今後もっと、英語を聞いて相手の言いたいことがわかったり、英語で自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり発表できるようになりたい」という英語を学ぶことへの意欲はどの学年でも高く、第6学年では、第5学年よりも増加する。「英語の授業がわかる」については、高学年で肯定的な回答の割合が増え、第6学年で最も高い割合になる。
- 教師オンライン質問調査では、全ての項目で肯定的な回答の割合が高い。しかし、考えや気持ちなどを伝え合ったり発表したりする活動については、教師の指導に関する認識と児童（第4学年）の受け止めに差がある。

### 3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

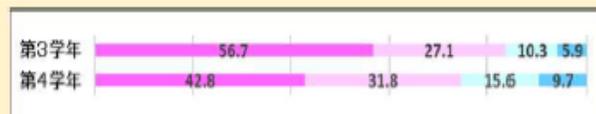
- 指導上の改善点
  - ・平成29年改訂のポイントを踏まえつつ、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を意識した言語活動を通じた指導を重視。
  - ・高学年での外国語科の学習につながるように、中学年において自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり発表したりする言語活動を引き続き十分に行い、音声に慣れ親しませるとともに、英語を使ってコミュニケーションを図る楽しさを体験させることを重視。

### 4. 調査結果例（質問調査 小学校/外国語活動）

#### 【児童質問紙調査】

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない [%]

・英語の学習が好きだ

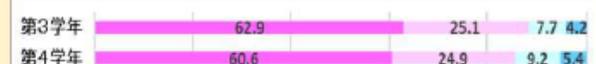


(参考)



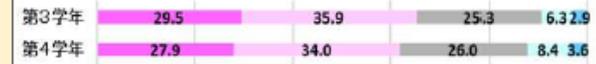
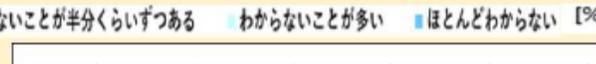
・今後もっと、英語を聞いて相手の言いたいことがわかったり、英語で自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり発表できるようになりたい

(参考)



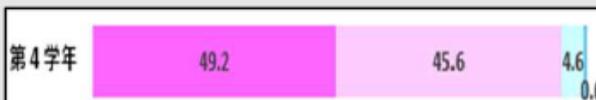
・英語の授業がどの程度わかりますか

(参考)



[教師] ■ そうしている ■ どちらかといえばそうしている ■ どちらかといえばそうしていない ■ そうしていない [%]

・英語の授業で、児童が互いの考えや気持ちなどを伝え合ったり発表したりする活動をしている



[児童] ■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない [%]

・英語の授業で、自分のことについて考えや気持ちなどを英語で伝え合ったり発表したりしようとしている

